

- iv) 「手動集計」ボタンを押下すると、処理当日分の再集計を行います。(基本的には、自動入力機能の日次処理で毎日処理します)
- v) 「設定」ボタンを押下すると、集計オプション画面が表示されます。
- vi) 「閉じる」ボタンを押下すると、本画面を閉じて検査データ解析画面に戻ります。

7)-2 集計オプション画面

設定

**警告レベルの設定**

警告レベル3	0.001
警告レベル2	0.005
警告レベル1	0.01

**BaselineRateの設定**

現在の設定内容 院内データ: 年月指定なし

院内データ |

対象年月(YYYYMM)指定

<input type="radio"/> 指定なし	~
<input checked="" type="radio"/> 指定あり	

計算実行

閉じる

- i) “警告レベルの設定”では、“警告レベル3”から“警告レベル1”までに数値を入力することにより、一覧表示での LEVEL3 から LEVEL1 での集計、表示となります。各値は初期値として、0.001、0.005、0.01 となっています。
- ii) “BaselineRate の設定”では、BaselineRate (検体当たり菌数)を計算する対象期間を指定して「計算実行」ボタンを押下すると算出します。
- iii) 「閉じる」ボタンを押下すると、本画面を閉じて菌異常集積画面に戻ります。

イ-1 PDI選択メニュー画面

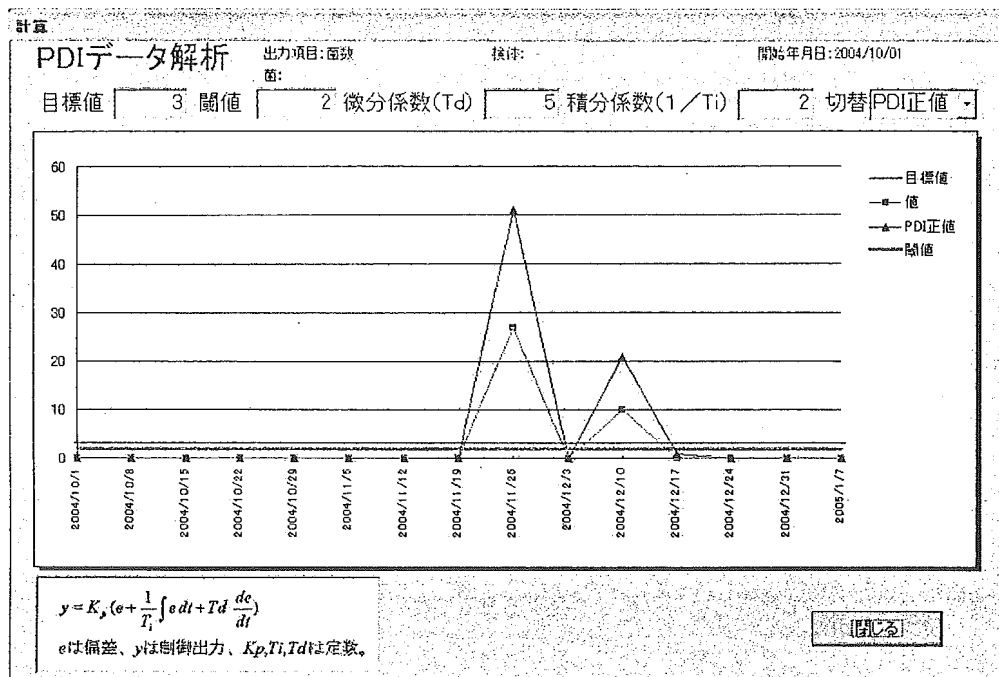
PDIによる傾向解析

### PDI解析

<p><b>集計開始日の指定</b></p> <p>開始日 <input type="text" value="2004/10/01"/></p>	<p><b>集計単位の指定</b></p> <p><input type="radio"/> 1週間  <input type="radio"/> 2週間  <input type="radio"/> 1ヶ月</p>																										
<p><b>条件の指定</b> <span style="font-size: small;">[菌名][検査材料]はコントロールキーを押しながらクリックすることで、複数個の選択指定ができます。</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">菌名</th> <th style="width: 50%;">検査材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定なし</td> <td>指定なし</td> </tr> <tr> <td>Gram-positive bacilli 1012</td> <td>喀出痰 101</td> </tr> <tr> <td>Gram-negative cocci 1013</td> <td>気管内探痰 102</td> </tr> <tr> <td>Gram-negative bacilli 1014</td> <td>気管支洗浄液 103</td> </tr> <tr> <td>Yeasts 1015</td> <td>咽頭粘液 104</td> </tr> <tr> <td>Streptococcus sp. 1100</td> <td>鼻腔内 105</td> </tr> <tr> <td>α-Streptococcus 1101</td> <td>口腔内 106</td> </tr> <tr> <td>β-Streptococcus 1102</td> <td>その他(呼吸器) 109</td> </tr> <tr> <td>γ-Streptococcus 1103</td> <td>自然排尿 201</td> </tr> <tr> <td>Streptococcus pyogenes 1111</td> <td>腔分泌物 205</td> </tr> <tr> <td>Streptococcus agalactiae 1114</td> <td>カテーテル尿(探尿) 206</td> </tr> <tr> <td>1117</td> <td>その他(泌尿・生殖) 209</td> </tr> </tbody> </table>		菌名	検査材料	指定なし	指定なし	Gram-positive bacilli 1012	喀出痰 101	Gram-negative cocci 1013	気管内探痰 102	Gram-negative bacilli 1014	気管支洗浄液 103	Yeasts 1015	咽頭粘液 104	Streptococcus sp. 1100	鼻腔内 105	α-Streptococcus 1101	口腔内 106	β-Streptococcus 1102	その他(呼吸器) 109	γ-Streptococcus 1103	自然排尿 201	Streptococcus pyogenes 1111	腔分泌物 205	Streptococcus agalactiae 1114	カテーテル尿(探尿) 206	1117	その他(泌尿・生殖) 209
菌名	検査材料																										
指定なし	指定なし																										
Gram-positive bacilli 1012	喀出痰 101																										
Gram-negative cocci 1013	気管内探痰 102																										
Gram-negative bacilli 1014	気管支洗浄液 103																										
Yeasts 1015	咽頭粘液 104																										
Streptococcus sp. 1100	鼻腔内 105																										
α-Streptococcus 1101	口腔内 106																										
β-Streptococcus 1102	その他(呼吸器) 109																										
γ-Streptococcus 1103	自然排尿 201																										
Streptococcus pyogenes 1111	腔分泌物 205																										
Streptococcus agalactiae 1114	カテーテル尿(探尿) 206																										
1117	その他(泌尿・生殖) 209																										
<p><b>出力項目の指定</b> <input type="text" value="菌数"/></p>																											
<p><input type="button" value="計算開始"/> <input type="button" value="閉じる"/></p>																											

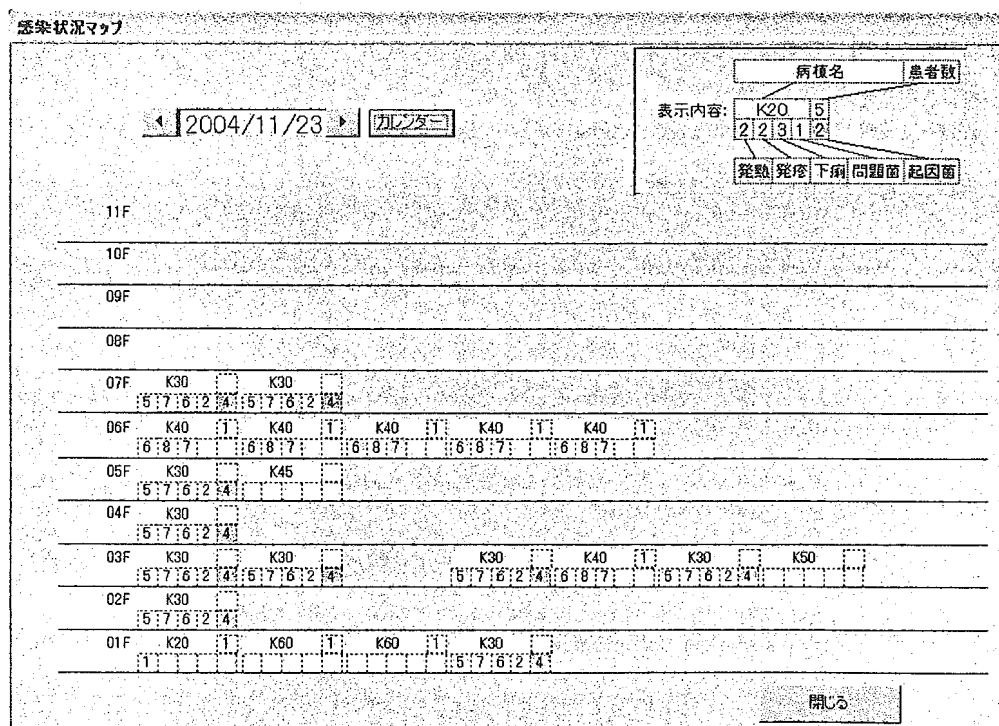
- i) “開始日” 欄には、本PDI解析の集計開始日をカレンダー画面から選択入力します。
- ii) “集計単位の指定” 欄では、“開始日” から起算した集計の期間を“1週間”、“2週間”、“1ヶ月” から選択します。
- iii) “条件の指定” 欄では、“菌名”、“検査材料” から当該集計での対象とする菌や検査材料を選択します。
- iv) “出力項目の指定” 欄では、“菌数”、“陽性患者数”、“発熱”、“発疹”、“下痢” から集計の対象を選択します。
- v) 「計算開始」 ボタンを押下すると、上記により選択、指定された内容で集計処理を行い、PDIデータ解析画面が表示されます。
- vi) 「閉じる」 ボタンを押下すると、本画面を閉じて検査データ解析画面に戻ります。

ロ-2 PDIデータ解析画面



- i) “目標値”、“閾値”、“微分係数”、“積分係数”欄に相当する基準値を入力し、“切替”欄で“PDI 正值”、“PDI”、“偏差”、“微分”、“積分”から選択することにより、PDI データ解析図が描画されます。
- ii) 「戻る」ボタンを押下すると、本画面を閉じて PDI 選択メニュー画面に戻ります。

ロ) 感染状況マップ画面



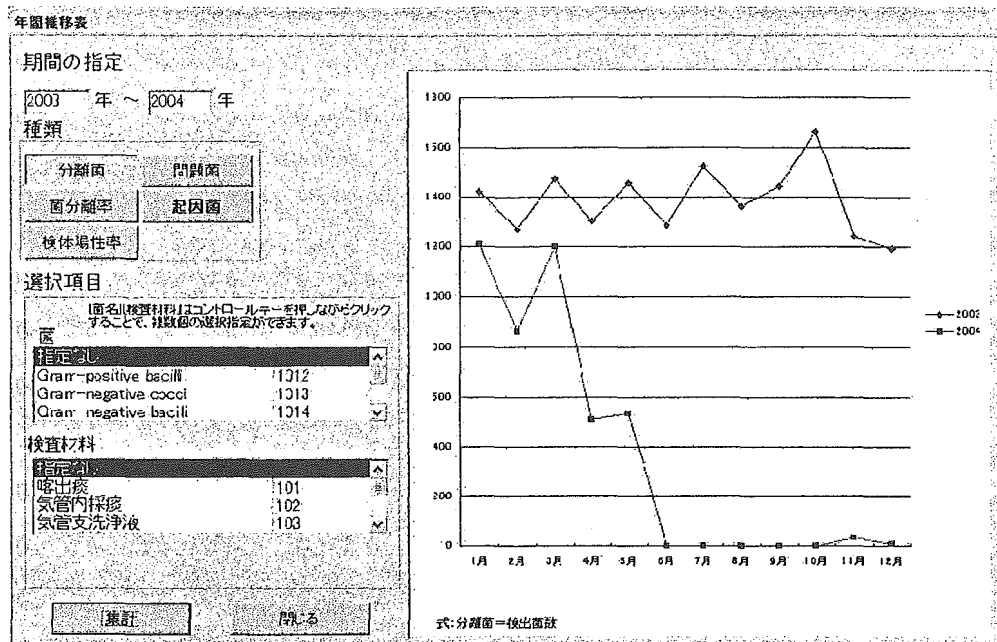
本画面では、日計表入力画面での患者数、発熱/発疹/下痢の患者数や、検査結果データからの問題菌、起因菌の検体数を、別途設定した院内病棟情報による病棟別に表示します。

- i) 左上の日付表示欄では、左右のボタンにより前日、翌日に変更でき、その操作に応じて画面内の各表示が更新されます。
- “カレンダー”ボタンを押下することにより、表示されたカレンダー画面からの選択入力

もできます。

ii) 「閉じる」ボタンを押下すると、本画面を閉じて検査データ解析画面に戻ります。

エ) 年間推移表画面



i) 「期間の指定」欄では、本推移表の集計期間を入力します。

ii) 「種類」欄では、「分離菌」、「菌分離率」、「検体陽性率」、「問題菌」、「起因菌」から選択します。

- ・ 分離菌指定：選択項目の菌、検査材料を選択してください。
- ・ 菌分離率指定：陽性検査材料、総検査材料、総分離菌数から選択の後、選択項目の菌、検査材料を選択してください。
- ・ 検体陽性率指定：患者単位、検体単位、JANIS 単位から選択の後、選択項目の菌、検査材料を選択してください。
- ・ 問題菌指定：選択項目の問題菌、検査材料を選択してください。
- ・ 起因菌：選択項目の症状、検査材料を選択してください。

iii) 「集計」ボタンを押下すると、指定された内容により集計を行い右欄に描画します。

iv) 「閉じる」ボタンを押下すると、本画面を閉じて検査データ解析画面に戻ります。

③ 集計表メニュー画面

集計表

### 集計表出力指定

<p>対象期間 <input type="text" value="2004"/> 年 <input type="text" value="1"/> 月 ~ <input type="text" value="2004"/> 年 <input type="text" value="12"/> 月</p> <p>性別 <input type="text"/></p> <p>入院外来 <input type="text"/></p> <p>診療科 <input type="text"/></p> <p>検体 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 常在菌を含まない</p> <p>菌名 <input type="text"/> <input type="button" value="問題菌"/></p> <p>薬剤 <input type="text"/></p> <p>感受性 <input type="text"/>      起因菌    発熱    発疹    下痢</p> <p>重複排除 <input type="text"/></p>	<p>レポート指定</p> <p><input type="checkbox"/> 病棟別菌検出状況</p> <p><input type="checkbox"/> 年齢別分離菌</p> <p><input type="checkbox"/> 診療科別分離菌</p> <p><input type="checkbox"/> 検体別分離菌</p> <p><input type="checkbox"/> 菌種別感受性分布</p> <p><input type="checkbox"/> 菌種別MIC分布</p> <p><input type="checkbox"/> 感染情報レポート</p>																														
<p>年齢別分離菌の列表示設定 <input type="button" value="変更"/></p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>表示1</td><td>表示2</td><td>表示3</td><td>表示4</td><td>表示5</td><td>表示6</td><td>表示7</td><td>表示8</td><td>表示9</td><td>表示10</td> </tr> <tr> <td>~ 30</td><td>~ 3</td><td>~ 6</td><td>~ 1</td><td>~ 3</td><td>~ 4</td><td>~ 15</td><td>~ 40</td><td>~ 60</td><td>~ 61</td> </tr> <tr> <td>日</td><td>ヶ月</td><td>ヶ月</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td> </tr> </table>		表示1	表示2	表示3	表示4	表示5	表示6	表示7	表示8	表示9	表示10	~ 30	~ 3	~ 6	~ 1	~ 3	~ 4	~ 15	~ 40	~ 60	~ 61	日	ヶ月	ヶ月	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
表示1	表示2	表示3	表示4	表示5	表示6	表示7	表示8	表示9	表示10																						
~ 30	~ 3	~ 6	~ 1	~ 3	~ 4	~ 15	~ 40	~ 60	~ 61																						
日	ヶ月	ヶ月	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳																						
<input type="button" value="CSV"/> <input type="button" value="プレビュー"/> <input type="button" value="印刷"/> <input type="button" value="閉じる"/>																															

- i) 集計表出力のための条件絞込み欄では、以下の内容を選択/入力します。
  - ・ 対象期間指定：集計対象の期間を選択/入力してください。
  - ・ 性別：「指定なし」、「男」、「女」から選択します。
  - ・ 入院外来：「指定なし」、「入院」、「外来」から選択します。
  - ・ 診療科：検査結果データとして報告された診療科が表示され、そこから選択します。
  - ・ 検体：検査結果データとして報告された検体が表示され、そこから選択します。
  - ・ 菌名：検査結果データとして報告された菌名が表示され、そこから選択します。  
「問題菌」ボタンを押下すると、表示される菌が問題菌に特化されます。
  - ・ 薬剤：検査結果データとして報告された薬剤が表示され、そこから選択します。
  - ・ 感受性：「指定なし」、「S」、「I」、「R」から選択します。
  - ・ 起因菌：「発熱」、「発疹」、「下痢」から選択します。(複数選択可能)
  - ・ 重複排除：「重複排除しない」、「重複排除する」から選択します。(ここでの重複排除とは、30日以内での同一患者ID、同一検体を一つとして扱うか、個々にカウントするかを指す)
- ii) “年齢別分離菌の列表示設定”欄では、レポート指定で“年齢別分離菌”を選択した場合の、表示する年齢階層の指定を行います。「変更」ボタンを押下すると、指定内容の変更が可能です。
- iii) “レポート指定”欄では、出力する集計表を「病棟別菌検出状況」、「年齢別分離菌」、「診療科別分離菌」、「検体別分離菌」、「菌種別感受性分布」、「菌種別 MIC 分布」、「感染情報レポート」から選択します。
- iv) 「CSV」ボタンを押下すると、レポート指定欄で選択した集計表の内容を CSV ファイルに出力します。
- v) 「プレビュー」ボタンを押下すると、レポート指定欄で選択した集計表の内容をプレビュー表示します。
- vi) 「印刷」ボタンを押下すると、レポート指定欄で選択した集計表を、「通常使うプリンタに設定」されたプリンタに印刷します。
- vii) 「閉じる」ボタンを押下すると本画面を閉じます。

④ 検査データ修正画面

検索画面

検索条件

ID	生年月日	検索	変更
検体番号	カナ氏名	全件表示	削除
検査材料	検体提出日	全条件クリア	リスト内全削除
薬剤名	診療科	病棟	新規登録
			閉じる

送信者識別	検査所識別	検体番号	ID	カルテ番号	カナ氏名	検体提出日	修正
99999	0002	12347	8821828037	123456	庄切法テスト		
99999	0002	1245465	5914666661			2004/12/22	
04002	04002	200411260100002		ICU-142083	B-ゴトウ タクオ	2004/11/26	修正
04002	04002	200411260100003		283-49233	B-サトマ チュウイ	2004/11/26	修正
04002	04002	200411260100004		ICU-141832	B-ナカヤマ カツヤ	2004/11/26	修正
04002	04002	200411260100005		ICU-140604	A-イトウ ミシロ	2004/11/26	修正
04002	04002	200411260100049		A外-72023	A-モイズミ ユキコ	2004/11/26	修正
04002	04002	200411260100050		240-141928	A-カトウ アイコ	2004/11/26	修正
04002	04002	200411260100102		254-141897	B-サクライ アキオ	2004/11/26	修正
04002	04002	200411260100103		ICU-142083	B-ゴトウ タクオ	2004/11/26	修正
04002	04002	200411260100104		456-40384	B-ヨシダ トモエ	2004/11/26	修正
04002	04002	200411260100105		456-40384	B-ヨシダ トモエ	2004/11/26	修正
04002	04002	200411260100106		238-112890	A-ウカマン ヨシノ	2004/11/26	修正
11001	11001	200411260100003	4444455555666666	ICU-142083	B-ゴトウ タクオ	2004/11/27	修正
11001	11001	200411260100004	7777788888999999	ICU-141832	B-ナカヤマ カツヤ	2004/12/12	修正
11001	11001	200411260100001	1111122222333333	307-130609	A-ムシヤ 手カコ	2004/11/27	修正

40件

- (ア) “検索条件” 欄に、検査データ修正のための対象絞り込み条件を入力します。
  - i) “ID”：患者 ID を入力します。ここで入力した文字列を含む（任意一致）ID が対象となります。
  - ii) “生年月日”：表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの“取消”ボタンを押してYYYY/MM/DD、YYYYMMDD形式での直接入力により入力します。
  - iii) “検体番号”：検体番号を入力します。ここで入力した文字列を含む（任意一致）検体番号が対象となります。
  - iv) “カナ氏名”：カナ氏名を入力します。ここで入力した文字列を含む（任意一致）カナ氏名が対象となります。
  - v) “検査材料”：検査結果データとして報告された検体が表示され、そこから選択します。
  - vi) “検体提出日”：表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの“取消”ボタンを押してYYYY/MM/DD、YYYYMMDD形式での直接入力により、対象期間を入力します。
  - vii) “薬剤名”：検査結果データとして報告された薬剤が表示され、そこから選択します。
  - viii) “診療科”：検査結果データとして報告された診療科が表示され、そこから選択します。
  - ix) “病棟”：検査結果データとして報告された病棟が表示され、そこから選択します。
- (イ) 「検索」ボタンを押下すると、検索条件欄で指定した内容で検索を行い該当データが表示されます。
- (ウ) 「全件表示」ボタンを押下すると、検索条件欄で指定した内容に関係なく DB 内のすべてのデータが表示され、各検索条件欄はクリアされます。
- (エ) 「全条件クリア」ボタンを押下すると、各検索条件欄がクリアされます。

- (オ) 「新規登録」ボタンを押下すると下の画面が表示され、当該検体番号を入力後「登録」ボタンを押下し、続いて“OK”を選択すると次ページの詳細入力画面が表示されます。

- (カ) 「変更」ボタンを押下すると、一覧で選択されたデータについて次ページの詳細入力画面が表示され、修正が可能となります。
- (キ) 「削除」ボタンを押下すると、一覧で選択されたデータが削除されます。(メンテナンスの削除データ復元機能により復元することが可能)
- (ク) 「リスト内全削除」ボタンを押下すると、一覧に表示されたすべてのデータが削除されます。(メンテナンスの削除データ復元機能により復元することが可能)
- (ケ) 「閉じる」ボタンを押下すると、本画面を閉じます。
- (コ) 各一覧表示のタイトル部をクリックすると、その都度当該項目における昇順、降順に並び替えます。

※「新規登録」ボタンによりデータを新規追加すると、送信者識別番号には“99999”、検査所識別番号には半角スペースに続けて当該施設コードが自動的にセットされます。

### A) 詳細入力画面 (患者基本データ)

検査データ入力

検体番号: 123456	
ID	カルテ番号
氏名	性別
入院日	退院日
検査材料名	入院外来
病棟	病室
病床	検査の目的

検査項目: 患者基本データ | 感染症データ | 抗菌薬データ | 基礎疾患に関するデータ | デバイスデータ

施設診療科: [プルダウン] JANIS分類による診療科: [プルダウン]

病棟: [プルダウン]

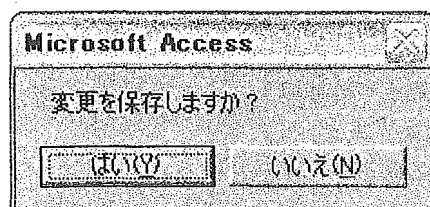
病室: [プルダウン]

病床: [プルダウン]

検査の目的: [プルダウン]

登録 閉じる

- ・ “ID” : 患者 ID を入力します。
- ・ “カルテ番号” : カルテ番号を入力します。
- ・ “氏名” : 患者氏名を入力します。
- ・ “生年月日” : 生年月日を YYYYMMDD または YYYY/MM/DD の形式で入力します。
- ・ “性別” : 「女」、「男」、「その他・不明」から選択します。
- ・ “入院外来” : 「外来」、「入院」、「不明」から選択します。
- ・ “入院日” : 表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの“取消”ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入力します。
- ・ “施設診療科” : プルダウンされる設定済みリストから選択すると、それに対応する JANIS での診療科名称が表示されます。
- ・ “病棟” : プルダウンされる設定済みリストから選択します。
- ・ “病室” : 病室番号を入力します。
- ・ “病床” : ベッド番号を入力します。
- ・ “検査の目的” : 「モニターリング」、「新規感染症」、「フォローアップ」、「その他」、「不明」から選択します。
- ・ 「登録」ボタンを押下すると、下の画面が表示され、“はい(Y)”を選択すると本画面内での修正内容で更新されて本画面および下の画面を閉じ、“いいえ(N)”を選択すると下の画面を閉じます。(他のタグでも同様)





- ・「閉じる」ボタンを押下すると、下の画面が表示され、“はい(Y)”を選択すると本画面内での修正内容は破棄され本画面および下の画面を閉じ、“いいえ(N)”を選択すると下の画面を閉じます。(他のタグでも同様)



B) 詳細入力画面 (感染症データ)

病院情報の入力

検査番号: 123456

ID: \_\_\_\_\_ カルテ番号: \_\_\_\_\_

氏名: \_\_\_\_\_ 性別: \_\_\_\_\_ 生年月日: \_\_\_\_\_

入院日: \_\_\_\_\_ 退院日: \_\_\_\_\_ 検体提出日: \_\_\_\_\_

検査材料名: \_\_\_\_\_ 診療科: \_\_\_\_\_ 入院外来: \_\_\_\_\_ 病棟: \_\_\_\_\_

検体データ | 菌データ | 退院サマリデータ | 予備情報拡張 | 検査項目  
 患者基本データ | 感染症データ | 抗生剤データ | 基礎疾患に関するデータ | デバイスデータ

感染症名: \_\_\_\_\_

感染症ICD10: \_\_\_\_\_

体温: \_\_\_\_\_

体温検査日: \_\_\_\_\_

白血球数: \_\_\_\_\_

白血球数検査日: \_\_\_\_\_

CRP定量: \_\_\_\_\_

CRP定量検査日: \_\_\_\_\_

CRP定性: \_\_\_\_\_

CRP定性検査日: \_\_\_\_\_

発熱: \_\_\_\_\_

下痢: \_\_\_\_\_

発疹: \_\_\_\_\_

登録 閉じる

- ・ “感染症名”：表示される画面から JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。
- ・ “感染症 ICD10”：表示される画面から ICD10 コードを選択/入力します。
- ・ “体温”：体温を入力します。
- ・ “体温検査日”：表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの“取消”ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入力します。
- ・ “白血球数”：白血球数を入力します。
- ・ “白血球数検査日”：表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの“取消”ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入力します。
- ・ “CRP 定量”：CRP 定量値を入力します。
- ・ “CRP 定量検査日”：表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの“取消”ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入力します。
- ・ “CRP 定性”：CRP 定性をプルダウンから選択します。
- ・ “CRP 定性検査日”：表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの“取消”ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入力します。
- ・ “発熱”：「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “発疹”：「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “下痢”：「なし」、「あり」、「不明」から選択します。

C) 詳細入力画面 (抗菌薬データ)

病歴情報の入力

検体番号: 123456

ID: \_\_\_\_\_ カルテ番号: \_\_\_\_\_

氏名: \_\_\_\_\_ 性別: \_\_\_\_\_ 生年月日: \_\_\_\_\_

入院日: \_\_\_\_\_ 退院日: \_\_\_\_\_ 検体提出日: \_\_\_\_\_

検査材料名: \_\_\_\_\_ 診療科: \_\_\_\_\_ 入院外来: \_\_\_\_\_ 病棟: \_\_\_\_\_

検体データ |  菌データ |  退院サマリデータ |  予備顕微鏡張 |  検査項目  
 患者基本データ |  感染症データ |  抗菌薬データ |  基礎疾患に関するデータ |  デバイスデータ

検体採取時の抗菌薬投与:  | 抗菌薬投与の有無:

番号	抗菌薬名	投与量	単位	日数	投与方法	投与開始日	投与終了日
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

登録 | 閉じる

- “検体採取時の抗菌薬投与”：「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- “抗菌薬投与の有無”：「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- 抗菌薬投与信息：(20種類まで入力可能)  
 抗菌薬名を表示される画面から選択/入力します。  
 投与量を入力します。  
 投与単位を「g」、「mg」から選択します。  
 投与日数を入力します。  
 投与方法をプルダウンから選択します。  
 投与開始日および投与終了日を表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの  
 “取消” ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入  
 力します。

D) 詳細入力画面（基礎疾患に関するデータ）

病院情報の入力

検体番号 123456

ID カルテ番号

氏名 性別 生年月日

入院日 退院日 検体提出日

検査材料名 診療科 入院外来 病棟

検体データ	菌データ	退院けマリデータ	予備検査依頼	検査項目
患者基本データ	感染症データ	抗菌薬データ	基礎疾患に関するデータ	デバイスデータ

基礎疾患名1

基礎疾患名1ICD10

基礎疾患名2

基礎疾患名2ICD10

基礎疾患名3

基礎疾患名3ICD10

免疫抑制剤

ステロイド

抗癌剤

放射線治療

放射線治療部位

手術

手術部位

Kコード

手術処置コード

透析

登録 閉じる

- ・ “基礎疾患名 1”：表示される画面から JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。
- ・ “基礎疾患名 1 ICD10”：表示される画面から ICD10 コードを選択/入力します。
- ・ “基礎疾患名 2”：表示される画面から JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。
- ・ “基礎疾患名 2 ICD10”：表示される画面から ICD10 コードを選択/入力します。
- ・ “基礎疾患名 3”：表示される画面から JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。
- ・ “基礎疾患名 3 ICD10”：表示される画面から ICD10 コードを選択/入力します。
- ・ “免疫抑制剤”：「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “ステロイド”：「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “抗癌剤”：「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “放射線治療”：「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “放射線治療部位”：放射線治療が「あり」のときにプルダウンから選択します。
- ・ “手術”：「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “手術部位”：手術が「あり」のときにプルダウンから選択します。
- ・ “Kコード”：Kコードを入力します。
- ・ “手術処置コード”：表示される画面から ICD9cm コードを選択/入力します。
- ・ “透析”：「なし」、「あり」、「不明」から選択します。

E) 詳細入力画面 (デバイスデータ)

病院情報の入力

検体番号	123456		
ID	カルテ番号		
氏名	性別	生年月日	
入院日	退院日	検体提出日	
検査材料名	診療科	入院外来	病棟
検体データ	菌データ	退院サマリデータ	予備観察拡張
患者基本データ	感染症データ	抗菌薬データ	基礎疾患に関するデータ
			デバイスデータ

膀胱尿路カテーテル	<input type="text"/>
中心静脈カテーテル	<input type="text"/>
SGカテーテル	<input type="text"/>
抹消血管内留置カテーテル	<input type="text"/>
ドレーン	<input type="text"/>
ドレーン部位	<input type="text"/>
気管内挿管	<input type="text"/>
人工材料	<input type="text"/>
人工材料種類	<input type="text"/>
経鼻経管栄養	<input type="text"/>
デバイスデータその他	<input type="text"/>

登録      閉じる

- ・ “膀胱尿路カテーテル” : 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “中心静脈カテーテル” : 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “SGカテーテル” : 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “抹消血管内留置カテーテル” : 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “ドレーン” : 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “ドレーン部位” : ドレーンが「あり」のときにプルダウンから選択します。
- ・ “気管内挿管” : 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “人工材料” : 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “人工材料種類” : 人工材料が「あり」のときにプルダウンから選択します。
- ・ “経鼻経管栄養” : 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ “デバイスデータその他” : 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。

F) 詳細入力画面 (検体データ)

検査データ入力

検体番号 | 23456

ID | カルテ番号

氏名 | 性別 | 生年月日

入院日 | 退院日 | 検体提出日

検査材料名 | 診療科 | 入院外来 | 病棟

患者基本データ | 感染症データ | 抗菌薬データ | 基礎疾患に関するデータ | デバイスデータ

検体データ | 菌データ | 退院サマリデータ | 予備観察拡張 | 検査項目

検査材料名 | 食食像

検体提出日 | 菌の種類GPC

検体採取日 | 菌の種類GPR

Miller&Jones分類 | 菌の種類GNC

Miller&Jones分類評価結果 | 菌の種類GNR

Geckler分類 | 膿尿の有無評価法の種類

Geckler分類評価結果 | 膿尿の有無評価結果

その他 | 培養結果

その他評価結果 | 陰性 陽性

登録 閉じる

- “検査材料名”：検査材料をプルダウンから選択します。
- “検体提出日”：表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの“取消”ボタンを押してYYYY/MM/DD、YYYYMMDD形式での直接入力により入力します。
- “検体採取日”：表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの“取消”ボタンを押してYYYY/MM/DD、YYYYMMDD形式での直接入力により入力します。
- “Miller&Jones 分類”：「実施」、「未実施」から選択します。
- “Miller&Jones 分類評価結果”：Miller&Jones 分類が「実施」のときにプルダウンから選択します。
- “Geckler 分類”：「実施」、「未実施」から選択します。
- “Geckler 分類評価結果”：Geckler 分類が「実施」のときにプルダウンから選択します。
- “その他”：「実施」、「未実施」から選択します。
- “その他評価結果”：その他が「実施」のときにプルダウンから選択します。
- “食食像”：「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- “菌の種類GPC”：食食像が「あり」のときにプルダウンから選択します。
- “菌の種類GPR”：食食像が「あり」のときにプルダウンから選択します。
- “菌の種類GNC”：食食像が「あり」のときにプルダウンから選択します。
- “菌の種類GNR”：食食像が「あり」のときにプルダウンから選択します。
- “膿尿の有無評価法の種類”：プルダウンから選択します。
- “膿尿の有無評価結果”：膿尿の有無評価法の種類が「未実施」以外のときにプルダウンから選択します。
- “培養結果”：「陰性」、「陽性」のいずれかを選択します。

G) 詳細入力画面 (菌データ)

病院情報の入力

患者番号: 123456

ID: \_\_\_\_\_ カルテ番号: \_\_\_\_\_

氏名: \_\_\_\_\_ 性別: \_\_\_\_\_ 生年月日: \_\_\_\_\_

入院日: \_\_\_\_\_ 退院日: \_\_\_\_\_ 検体提出日: \_\_\_\_\_

検査材料名: \_\_\_\_\_ 診療科: \_\_\_\_\_ 入院外来: \_\_\_\_\_ 病種: \_\_\_\_\_

患者基本データ | 感染症データ | 抗菌薬データ | 基礎疾患に関するデータ | デバイスデータ  
 検体データ | 菌データ | 退院サマリデータ | 予備領域拡張 | 検査項目

[A] [B] [C] [D] [E] [F] [G] [H] [I] [J]

菌コード: \_\_\_\_\_

菌量: [ ] 菌数: [ ] 菌起炎性: [ ]

番号	薬剤名	検査方法	仕切法	MIC	阻止円径	判定SIR	判定PLUS
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							

登録 開じる

- 入力菌種を選択: A~Jまで10菌種の入力ができます。
- “菌コード”: 表示される画面から JANIS 菌コードを選択/入力します。
- “菌量”: 「半定量」、「定量」、「その他」から選択します。
- “菌数”: プルダウンから選択します。
- “菌起炎性”: 「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- 菌検査結果情報: (60種類まで入力可能)  
 使用薬剤名を表示される JANIS 薬剤コード表から選択します。  
 検査方法をプルダウンから選択します。  
 仕切法をプルダウンから選択します。  
 MIC 値を入力します。  
 阻止円径値を入力します。  
 判定 SIR を入力します。  
 判定 PLUS を入力します。

## H) 詳細入力画面 (退院サマリデータ)

病院情報の入力

検体番号	123456				
ID	カルテ番号				
氏名		性別	生年月日		
入院日		退院日	検体提出日		
検査材料名	診療科	入院外来	病棟		
患者基本データ	感染症データ	抗菌薬データ	基礎疾患に関するデータ	デバイスデータ	
検体データ	菌データ	退院サマリデータ	予備領域拡張	検査項目	
退院日					
転帰	<input type="text" value="↓"/>				
退院時最終診断名					
退院時最終診断名ICD10					

登録      閉じる

- ・ “退院日”：表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの“取消”ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入力します。
- ・ “転帰”：プルダウンから選択します。
- ・ “退院時最終診断名”：表示される画面から JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。
- ・ “退院時最終診断名 ICD10”：表示される画面から ICD10 コードを選択/入力します。



D) 詳細入力画面（予備領域拡張）

検査データ入力

検体番号	123456				
ID	カルテ番号				
氏名			性別	生年月日	
入院日	退院日		検体提出日		
検査材料名	診療科	入院外来	病棟		
患者基本データ	感染症データ	抗菌薬データ	基礎疾患に関するデータ	デバイスデータ	
検体データ	菌データ	退院サマリデータ	予備領域拡張	検査項目	
主治医コード					
主治医名					
依頼番号					
検体番号	123456				
同一患者識別ID					

登録      閉じる

- ・ “主治医コード”：主治医のコードを入力します。
- ・ “主治医名”：主治医の氏名を入力します。
- ・ “依頼番号”：依頼番号を入力します。
- ・ “検体番号”：検体番号が表示されます。（修正、変更はできません）
- ・ “同一患者識別 ID”：同一患者識別 ID を入力します。



J) 詳細入力画面 (検査項目)

病院情報の入力

検体番号: 123456

ID: \_\_\_\_\_ カルテ番号: \_\_\_\_\_

氏名: \_\_\_\_\_ 性別: \_\_\_\_\_ 生年月日: \_\_\_\_\_

入院日: \_\_\_\_\_ 退院日: \_\_\_\_\_ 検体提出日: \_\_\_\_\_

検査材料名: \_\_\_\_\_ 診療科: \_\_\_\_\_ 入院外来: \_\_\_\_\_ 病棟: \_\_\_\_\_

患者基本データ | 感染症データ | 抗菌薬データ | 基礎疾患に関するデータ | デバイスデータ  
 検体データ | 菌データ | 退院サマリデータ | 予備領域拡張 | 検査項目

検査項目番号	検査項目	検査結果
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		

登録 閉じる

- 検査項目情報：(20 種類まで入力可能)  
 検査項目を表示される JLAC10 コード表から選択/入力します。  
 検査結果を入力します。

K) 詳細入力画面 (データの由来)

病院情報の入力

検体番号: 123457

ID: \_\_\_\_\_ カルテ番号: \_\_\_\_\_

氏名: \_\_\_\_\_ 性別: \_\_\_\_\_ 生年月日: 1960/01/01

入院日: \_\_\_\_\_ 退院日: \_\_\_\_\_ 検体提出日: \_\_\_\_\_

検査材料名: \_\_\_\_\_ 診療科: \_\_\_\_\_ 入院外来: \_\_\_\_\_ 病棟: \_\_\_\_\_

検体データ | 菌データ | 退院サマリデータ | 予備領域拡張 | 検査項目  
 データの由来 | 患者基本データ | 感染症データ | 抗菌薬データ | 基礎疾患に関するデータ | デバイスデータ

データ送信者識別コード: 99999

データ送信者識別名: \_\_\_\_\_

検査所識別コード: 0002

検査所識別名: 群馬大学医学部附属病院

データ作成日時: 2006/01/04 18:25:00

登録 閉じる

本画面は、検査結果データ内の受信内容を表示するもので、内容の修正は行わないものとする。

⑤ メンテナンス画面

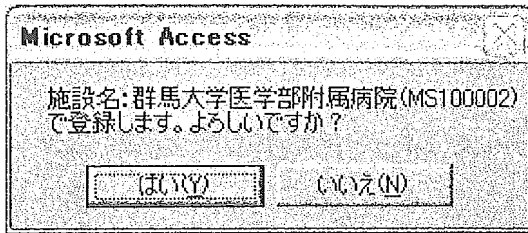
- (ア) 「施設情報登録」ボタンを押下すると、施設情報登録画面が表示されます。
- (イ) 「検査データ上書禁止設定」ボタンを押下すると、検査データ上書禁止設定画面が表示されます。
- (ウ) 「病棟情報設定」ボタンを押下すると、病棟情報設定画面が表示されます。
- (エ) 「診療科情報設定」ボタンを押下すると、診療科情報設定画面が表示されます。
- (オ) 「マップ用病棟情報設定」ボタンを押下すると、マップ用病棟情報設定画面が表示されます。
- (カ) 「削除データ復元」ボタンを押下すると、削除データ復元画面が表示されます。
- (キ) 「システム内コードの更新」ボタンを押下すると、システム内コードの更新画面が表示されます。
- (ク) 「閉じる」ボタンを押下すると、この画面を閉じます。

ア) 施設情報登録画面

施設コード	名前
MS130001	墨田中央病院
MS130002	立川中央病院
MS040001	仙台オープン病院
MS040003	女川町立病院
MS080001	きぬ医師会病院
MS100001	日高病院
MS100002	群馬大学医学部附属病院

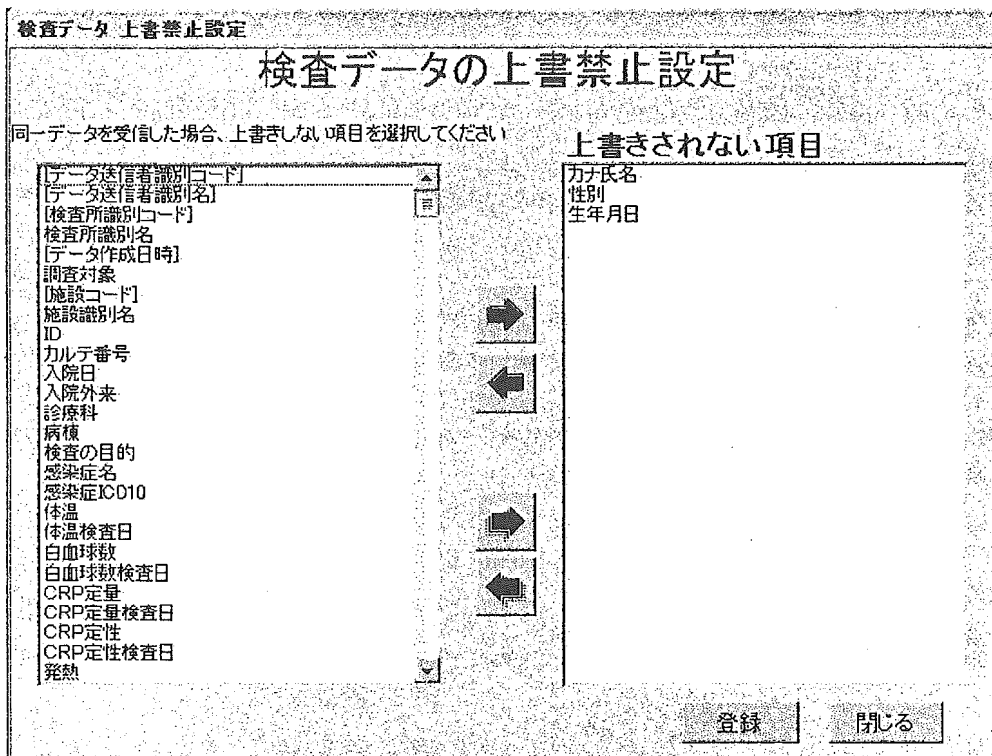
墨田中央病院(MS130001)      登録      閉じる

- i) 表示された一覧の中から、自施設を選択し「決定」ボタンを押下すると以下の確認画面が表示されます。



- ・ “はい(Y)” を選択すると、一覧から選択した施設情報が登録され、施設情報登録画面を閉じます。
  - ・ “いいえ(N)” を選択すると、一覧から選択した施設情報は登録されず、施設情報登録画面に戻ります。
- ii) 「キャンセル」ボタンを押下すると、本画面を閉じて検査データ解析画面に戻ります。

4) 検査データ上書禁止設定画面



本画面では、施設で受信した検査結果データに対して修正を加えた場合などに、検査会社からの検査結果データの再送時に上書きさせない項目を指定します。

- i) 各アローボタンについて



左欄で選択した項目を右欄に移動します（上書きしない項目に追加する）



右欄で選択した項目を左欄に移動します（上書きしない項目から除外する）



すべての項目を右欄に移動します（すべての項目を上書きしないとする）



すべての項目を左欄に移動します（すべての項目を上書きとする）

- ii) 「更新」 ボタンを押下すると、設定した内容で上書き条件を更新し本画面を閉じて検査データ解析画面に戻ります。

ウ) 病棟情報設定画面

メンテナンス

### 病棟情報の設定

**病棟情報**

コード	病棟名称	管理者	
K110	北病棟11階	里中	追加
備考			更新
			削除

コード	病棟名称	管理者	備考
K110	北病棟11階	里中	
K40	北病棟4階(呼吸器外科)	里中	
K70	北病棟7階aa		
K01	北病棟9階(呼吸器内科)		
M00	南病棟3階(産婦人科)		
K25	北病棟21階	西岡	
K45	北病棟3階	西山	
K41	北病棟4階(ICU)		

**診療科**

診療科:

コード	診療科	

追加
削除
診療科情報設定
マップ用病棟情報設定
閉じる

本画面では、施設内の病棟とその診療科について設定します。

- i) 病棟情報について
  - ・ 当該コード、名称、管理者および備考事項を入力して、「追加」、「更新」、「削除」 ボタンを押下すると、コードを基準として追加、更新、削除を行い一覧に表示します。
- ii) 診療科情報について
  - ・ 上部の病棟情報欄で選択中の病棟の診療科をプルダウンから選択し、「追加」、「削除」 ボタンを押下すると、コードを基準として追加、削除を行い一覧に表示します。
- iii) 「診療科情報設定」 ボタンを押下すると、診療科情報設定画面に遷移します。(詳細はエ) 診療科情報設定画面の項を参照)
- iv) 「マップ用病棟情報設定」 ボタンを押下すると、マップ用病棟情報設定画面に遷移します。(詳細はオ) マップ用病棟情報設定画面の項を参照)
- v) 「閉じる」 ボタンを押下すると、この画面を閉じます。